

9757人が避難!!

知っていますか？

つくばみらい市は、
東海村民の
避難場所になっています。



東海村広域避難計画(案)では、東海村にある東海第二原発が事故にあったときには、つくばみらい市に東海村から最大想定避難者9757人が避難してきます。つくばみらい市では、22個所の公共施設で受け入れる予定をしています。実際に避難訓練も行われましたが、実質的な避難計画は、まだ、できていません。



「東海村広域避難計画(案)」

<https://www.vill.tokai.ibaraki.jp/material/files/group/9/57b3214eadda4.pdf>

2011年3月11日の東日本大震災に伴う福島原発事故は、いまだに解決の道はできていなく、今後の原発のあり方については「他人事」ではなく「自分事」として考える必要があります。



[活動報告]

みらい平駅前で シール投票!

6/23(金)17:30~19:00

東海第2原発の再稼働
誰が決めるのがよい?

知事や議会に任せる



1人



15人

県民投票で意思表示

みらい平駅は、多くの乗降者がありますが、足早に通過していきます。「原発には賛成だが、選択として県民投票に賛成」という人、考えながらシールを貼ってくれた小学生、何をしているのか声をかけてくれた通りがかりの方。結果は15対1でした。ご協力ありがとうございました。今後も、駅前で活動していきたいと思えます。

お知らせ



県民投票カフェ(定例会)の案内

第二日曜日:みらい平コミュニティセンター:14時~16時



シール投票 7月23日(日)の16時からみらい平駅前

いばらき 原発県民投票の 会 つて？



茨城県には東海第二原発があります。2011年3月11日の東日本大震災時に、地震で外部電源が失われ、約53時間ぶりに復旧した被災した原発です。震災以後は稼働を停止しています。現在、再稼働に向けた新基準の安全対策工事が行われています。工事は2024年9月に終了予定です。

会社側（日本原子力発電株式会社）は再稼働をする方向を表明しています。しかし、再稼働には周辺6市村と茨城県の同意が必要です。その判断だけではなく、広く県民の意思を確認することが必要だと私たちは考えています。

そこで私たちは、県民同士が話し合い、一人ひとりがそれぞれの選択を表すことが大切であると考えています。その為には、法が定める「県民投票」で、再稼働の是非を選択できることを目指しています。

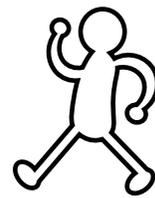
再度の県民投票を目指す

2020年6月、原発県民投票の実現を目指して86703筆の署名が集まり「直接請求」が実現しました。県議会では否決されました。否決の理由は時期尚早ということでした。しかし、今回の再度の請求が実現すれば時期尚早という理由にはなりません。知事、そして議会は県民の民意を受け止めなければなりません。ここに再度の挑戦の意味があり、法による直接請求は、市民の権利であることを示していきましょう。

○いばらき原発県民投票の会
<http://ibarakitohyo.net>
e-mail : ibarakitohyo@gmail.com



○つくばみらい市原発県民投票の会
連絡先：090-8580-1288（野口修）



つくばみらい市原発県民投票の会 機関紙

あるく

創刊号「あるく」2023年7月

地域を歩いて
みんなで
考えよう

vol.01

お任せ民主主義から、
一歩、一歩、民主主義を
バージョンアップしよう！

原発の再稼働をするか、
しないかだって、
私たちの投票で決めよう！

つくばみらい市の皆様へ



東海第二原発の再稼働に対しては、県民の意思表示で決めようとする、「いばらき原発県民投票の会」です。当会は、2020年6月、原発県民投票をめざして86,703筆の署名を集め「直接請求」を実現させました。県議会では否決されましたが、県民の声を聞くことの必要性は知事も議員も認めました。否決の意見としては、時期尚早であるという意見でした。しかし、東海第二原発の新工事が終了する来年9月には、知事や県議会は再稼働の是非を求められます。時期尚早という否決の理由は理由として成立しません。そこで、私たちは再度の直接請求を求め活動を始めました。そして、今回の活動の方針として、地域でも仲間の会をつくり、県全体を盛り上げていこうということになりました。

つくばみらい市でも6月11日に、小さな会をつくり活動を始めています。基本的に第2日曜日の午後、みらい平コミュニティセンターで、お茶を飲みながらの例会をしています。どうぞ気軽にお立ち寄りください。